

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド	
ベビーファンドの運用方法	<p>①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50%を中心に、40%程度から60%程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。</p> <p>※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。</p> <p>④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第90期	（決算日	2016年 9月12日）
第91期	（決算日	2016年10月11日）
第92期	（決算日	2016年11月10日）
第93期	（決算日	2016年12月12日）
第94期	（決算日	2017年 1月10日）
第95期	（決算日	2017年 2月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第95期の決算を行ないました。

ここに、第90期～第95期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4792>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
66期末(2014年9月10日)	8,225	50	3.5	14,301	2.6	18,613	3.7	96.1	—	79,773
67期末(2014年10月10日)	8,070	50	△ 1.3	14,547	1.7	18,521	△ 0.5	95.4	△ 3.0	77,722
68期末(2014年11月10日)	8,295	50	3.4	15,302	5.2	19,215	3.8	90.6	△ 3.4	79,383
69期末(2014年12月10日)	8,561	50	3.8	15,994	4.5	19,509	1.5	96.6	△ 13.6	80,673
70期末(2015年1月13日)	8,426	50	△ 1.0	15,792	△ 1.3	18,854	△ 3.4	96.6	△ 19.9	79,056
71期末(2015年2月10日)	8,090	50	△ 3.4	15,590	△ 1.3	18,834	△ 0.1	92.3	—	75,364
72期末(2015年3月10日)	7,757	50	△ 3.5	15,549	△ 0.3	18,370	△ 2.5	93.9	△ 13.5	71,801
73期末(2015年4月10日)	7,849	50	1.8	15,526	△ 0.1	18,913	3.0	95.9	△ 11.5	71,227
74期末(2015年5月11日)	7,722	50	△ 1.0	15,586	0.4	18,785	△ 0.7	93.0	△ 6.3	69,764
75期末(2015年6月10日)	7,727	50	0.7	15,837	1.6	18,746	△ 0.2	95.2	△ 8.3	69,153
76期末(2015年7月10日)	7,455	50	△ 2.9	15,445	△ 2.5	18,249	△ 2.6	92.0	△ 2.3	66,560
77期末(2015年8月10日)	7,351	50	△ 0.7	15,927	3.1	18,040	△ 1.1	94.1	△ 4.6	65,216
78期末(2015年9月10日)	6,650	50	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7	57,868
79期末(2015年10月13日)	6,787	50	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1	58,625
80期末(2015年11月10日)	6,742	50	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—	57,708
81期末(2015年12月10日)	6,674	50	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6	56,473
82期末(2016年1月12日)	6,082	50	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9	50,874
83期末(2016年2月10日)	6,093	50	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△ 10.0	50,369
84期末(2016年3月10日)	6,146	50	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9	50,548
85期末(2016年4月11日)	5,931	50	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—	47,764
86期末(2016年5月10日)	5,837	50	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—	46,256
87期末(2016年6月10日)	5,818	50	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—	45,544
88期末(2016年7月11日)	5,506	50	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—	42,708
89期末(2016年8月10日)	5,582	50	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—	42,678
90期末(2016年9月12日)	5,471	50	△ 1.1	13,897	0.3	16,142	0.3	95.2	—	41,438
91期末(2016年10月11日)	5,494	50	1.3	13,857	△ 0.3	16,490	2.2	96.7	—	41,034
92期末(2016年11月10日)	5,439	30	△ 0.5	13,671	△ 1.3	16,269	△ 1.3	95.8	—	40,070
93期末(2016年12月12日)	5,657	30	4.6	14,545	6.4	17,088	5.0	95.8	—	40,641
94期末(2017年1月10日)	5,547	30	△ 1.4	14,754	1.4	17,296	1.2	96.4	△ 7.0	39,185
95期末(2017年2月10日)	5,588	30	1.3	14,411	△ 2.3	17,509	1.2	95.8	△ 6.9	38,791

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

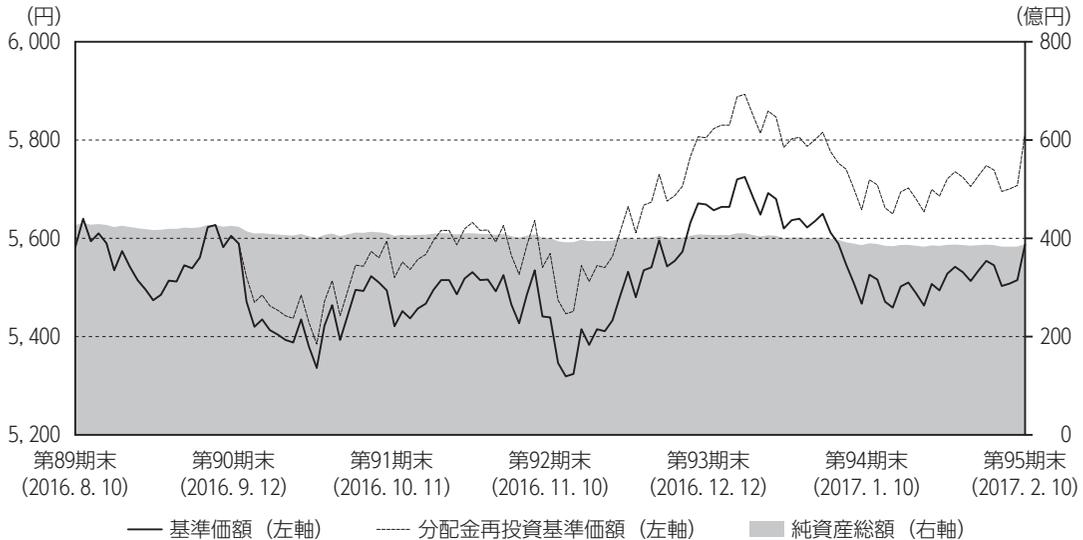
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：5,582円

第95期末：5,588円（既払分配金220円）

騰落率：4.2%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	9.0%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	0.3%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、債券の利息収入や投資している通貨が対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第90期	(期首) 2016年 8月10日	5,582	—	13,848	—	16,088	—	95.4	—
	8月末	5,545	△ 0.7	13,985	1.0	16,067	△ 0.1	95.5	—
	(期末) 2016年 9月12日	5,521	△ 1.1	13,897	0.3	16,142	0.3	95.2	—
第91期	(期首) 2016年 9月12日	5,471	—	13,897	—	16,142	—	95.2	—
	9月末	5,393	△ 1.4	13,851	△ 0.3	16,048	△ 0.6	95.9	—
	(期末) 2016年10月11日	5,544	1.3	13,857	△ 0.3	16,490	2.2	96.7	—
第92期	(期首) 2016年10月11日	5,494	—	13,857	—	16,490	—	96.7	—
	10月末	5,492	△ 0.0	13,836	△ 0.1	16,426	△ 0.4	96.8	—
	(期末) 2016年11月10日	5,469	△ 0.5	13,671	△ 1.3	16,269	△ 1.3	95.8	—
第93期	(期首) 2016年11月10日	5,439	—	13,671	—	16,269	—	95.8	—
	11月末	5,541	1.9	14,385	5.2	16,369	0.6	94.2	—
	(期末) 2016年12月12日	5,687	4.6	14,545	6.4	17,088	5.0	95.8	—
第94期	(期首) 2016年12月12日	5,657	—	14,545	—	17,088	—	95.8	—
	12月末	5,635	△ 0.4	14,757	1.5	17,336	1.4	95.8	△ 6.8
	(期末) 2017年 1月10日	5,577	△ 1.4	14,754	1.4	17,296	1.2	96.4	△ 7.0
第95期	(期首) 2017年 1月10日	5,547	—	14,754	—	17,296	—	96.4	△ 7.0
	1月末	5,531	△ 0.3	14,438	△ 2.1	17,275	△ 0.1	96.4	△ 6.9
	(期末) 2017年 2月10日	5,618	1.3	14,411	△ 2.3	17,509	1.2	95.8	△ 6.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 8. 11 ~ 2017. 2. 10)

■海外債券市況

・先進国

投資対象国の債券金利は上昇（債券価格は下落）しました。第90期首より、金利は横ばい傾向で推移しましたが、2016年10月以降は、ECB（欧州中央銀行）の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同氏の政策が米国景気の拡大やインフレの加速をもたらすと観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。また、OPEC（石油輸出国機構）が総会で減産に合意し原油価格が上昇する中でインフレ期待が高まったことも、金利上昇の材料となりました。

・新興国

新興国の債券市況は、個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国の大統領選挙、欧米の金融政策などに振られる展開となりました。

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた粛正やテロなどの地政学リスク、また憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなどの政治的不透明感を背景に、金利が上昇する局面がありました。2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小したものの、当作成期間を通してみると金利は上昇しました。メキシコでは、トランプ新米国大統領がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて、金利は上昇しました。

■為替相場

・先進国

投資対象通貨の対円相場は上昇（円安）しました。第90期首より、おおむね方向感のない推移となりましたが、2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進みました。また、内外金利差の拡大も円安の材料となりました。しかし12月半ば以降は、米国の保護主義的な政策への懸念や欧州の政治に対する不透明感などから、市場のリスク回避姿勢が強まり円高傾向となったことで、投資対象通貨の対円相場は上値の重い展開となりました。

・新興国

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国の利上げ観測が

新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながりました。

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、対外ぜい弱性を背景に、対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的な不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、トランプ氏が大統領選挙で勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、当作成期間を通してみると小幅な上昇にとどまりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2016. 8. 11 ~ 2017. 2. 10)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

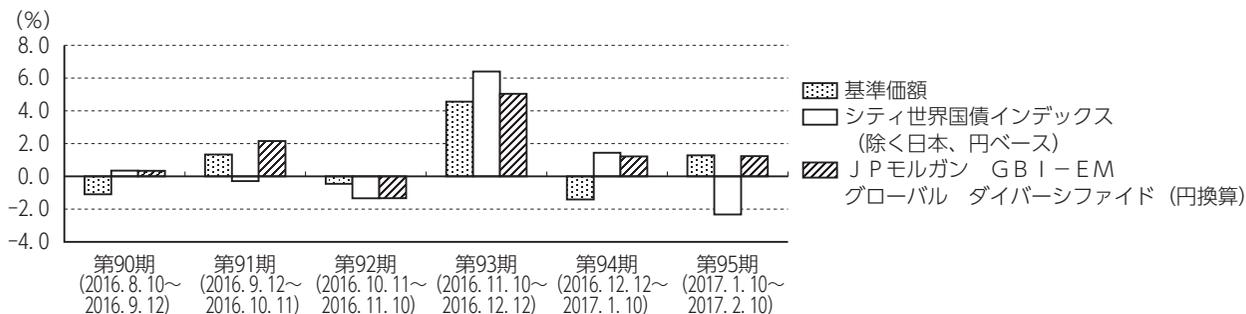
通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当たり分配金（税込み）は第90期および第91期はそれぞれ50円、第92期～第95期はそれぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2016年8月11日 ～2016年9月12日	2016年9月13日 ～2016年10月11日	2016年10月12日 ～2016年11月10日	2016年11月11日 ～2016年12月12日	2016年12月13日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月10日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.91	0.90	0.55	0.53	0.54	0.53
当期の収益（円）	18	20	17	25	18	23
当期の収益以外（円）	31	29	12	4	11	6
翌期繰越分配対象額（円）	380	350	338	334	322	315

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	18.48円	20.60円	17.75円	25.57円	18.33円	23.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	50.95	51.32	51.74	51.99	52.20	52.39
(d) 分配準備積立金	360.62	328.75	298.95	286.47	281.85	270.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	430.06	400.68	368.45	364.04	352.38	345.64
(f) 分配金	50.00	50.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	380.06	350.68	338.45	334.04	322.38	315.64

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2016. 8. 11～2017. 2. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.708%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,523円です。
（投 信 会 社）	(15)	(0.278)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0.409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先 物）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.030	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0.738	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

決算期	第90期～第95期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	—	—	2,338,199	3,743,000
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	—	—	1,831,667	2,305,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第90期～第95期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第95期末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	14,649,903	12,311,703	20,679,968
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	16,213,728	14,382,060	18,263,779

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年9月12日)、(2016年10月11日)、(2016年11月10日)、(2016年12月12日)、(2017年1月10日)、(2017年2月10日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	41,958,122,838円	41,534,573,180円	40,404,729,070円	40,951,381,115円	39,687,624,399円	39,111,168,173円
コール・ローン等	55,092,989	85,199,110	22,607,886	94,276,503	112,391,212	67,420,530
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	22,204,233,082	21,773,459,063	21,661,022,276	21,866,926,538	21,249,230,682	20,679,968,637
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	19,698,796,767	19,675,915,007	18,578,098,908	18,990,178,074	18,098,002,505	18,263,779,006
未収入金	—	—	143,000,000	—	228,000,000	100,000,000
(B) 負債	519,134,619	499,941,446	334,159,001	309,705,447	502,609,920	319,948,066
未払収益分配金	378,689,505	373,435,579	221,026,006	215,528,271	211,924,815	208,265,051
未払解約金	86,455,709	80,575,806	65,620,391	44,311,373	244,801,241	64,524,280
未払信託報酬	53,797,559	45,570,806	46,976,300	49,142,848	44,987,892	46,083,256
その他未払費用	191,846	359,255	536,304	722,955	895,972	1,075,479
(C) 純資産総額（A－B）	41,438,988,219	41,034,631,734	40,070,570,069	40,641,675,668	39,185,014,479	38,791,220,107
元本	68,164,111,010	67,218,404,352	66,307,801,942	64,658,481,342	63,577,444,583	62,479,515,361
次期繰越損益金	△26,725,122,791	△26,183,772,618	△26,237,231,873	△24,016,805,674	△24,392,430,104	△23,688,295,254
(D) 受益権総口数	75,737,901,122口	74,687,115,947口	73,675,335,491口	71,842,757,047口	70,641,605,093口	69,421,683,735口
1万口当り基準価額（C/D）	5,471円	5,494円	5,439円	5,657円	5,547円	5,588円

* 第89期末における元本額は68,810,216,300円、当作成期間（第90期～第95期）中における追加設定元本額は456,972,711円、同解約元本額は6,787,673,650円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は5,588円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は23,688,295,254円です。

■投資信託財産の構成

2017年2月10日現在

項目	第95期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	20,679,968	52.9
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	18,263,779	46.7
コール・ローン等、その他	167,420	0.4
投資信託財産総額	39,111,168	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.74円、1カナダ・ドル＝86.52円、1オーストラリア・ドル＝86.75円、1トルコ・リラ＝30.85円、1メキシコ・ペソ＝5.59円、1南アフリカ・ランド＝8.48円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第95期末における外貨建純資産（20,476,729千円）の投資信託財産総額（20,798,990千円）に対する比率は、98.5%です。ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第95期末における外貨建純資産（17,853,589千円）の投資信託財産総額（18,405,260千円）に対する比率は、97.0%です。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■損益の状況

項 目	第90期 自 2016年 8月11日 至 2016年 9月12日 第91期 自 2016年 9月13日 至 2016年10月11日	第91期 自 2016年10月12日 至 2016年11月10日 第92期 自 2016年11月11日 至 2016年12月12日	第92期 自 2016年12月13日 至 2017年 1月10日 第93期 自 2017年 1月11日 至 2017年 2月10日	第93期 自 2016年12月13日 至 2017年 1月10日 第94期 自 2017年 1月11日 至 2017年 2月10日	第94期 自 2016年12月13日 至 2017年 1月10日 第95期 自 2017年 1月11日 至 2017年 2月10日	第95期 自 2016年12月13日 至 2017年 1月10日 第96期 自 2017年 1月11日 至 2017年 2月10日
(A) 配当等収益	△ 2,780円	△ 2,981円	△ 2,383円	△ 3,682円	△ 3,538円	△ 3,021円
受取利息	19	21	17	45	26	30
支払利息	△ 2,799	△ 3,002	△ 2,400	△ 3,727	△ 3,564	△ 3,051
(B) 有価証券売買損益	△ 406,543,371	△ 589,749,746	△ 139,927,005	△ 1,832,588,676	△ 520,084,596	△ 537,436,215
売買益	3,685,065	593,727,559	319,293,753	1,842,563,701	7,537,242	539,890,882
売買損	△ 410,228,436	△ 3,977,813	△ 459,220,758	△ 9,975,025	△ 527,621,838	△ 2,454,667
(C) 信託報酬等	△ 53,989,405	△ 45,738,215	△ 47,153,349	△ 49,329,499	△ 45,160,909	△ 46,262,763
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 460,535,556	△ 544,008,550	△ 187,082,737	△ 1,783,255,495	△ 565,249,043	△ 491,170,431
(E) 前期繰越損益金	△ 22,315,133,170	△ 22,808,191,704	△ 22,301,238,416	△ 22,125,867,753	△ 20,200,719,158	△ 20,601,637,175
(F) 追加信託差損益金	△ 3,570,764,560	△ 3,546,153,885	△ 3,527,884,714	△ 3,458,665,145	△ 3,414,537,088	△ 3,369,563,459
(配当等相当額)	(385,900,075)	(383,341,838)	(381,228,323)	(373,572,469)	(368,753,333)	(363,739,537)
(売買損益相当額)	(△ 3,956,664,635)	(△ 3,929,495,723)	(△ 3,909,113,037)	(△ 3,832,237,614)	(△ 3,783,290,421)	(△ 3,733,302,996)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 26,346,433,286	△ 25,810,337,039	△ 26,016,205,867	△ 23,801,277,403	△ 24,180,505,289	△ 23,480,030,203
(H) 収益分配金	△ 378,689,505	△ 373,435,579	△ 221,026,006	△ 215,528,271	△ 211,924,815	△ 208,265,051
次期繰越損益金 (G + H)	△ 26,725,122,791	△ 26,183,772,618	△ 26,237,231,873	△ 24,016,805,674	△ 24,392,430,104	△ 23,688,295,254
追加信託差損益金	△ 3,570,764,560	△ 3,546,153,885	△ 3,527,884,714	△ 3,458,665,145	△ 3,414,537,088	△ 3,369,563,459
(配当等相当額)	(385,900,075)	(383,341,838)	(381,228,323)	(373,572,469)	(368,753,333)	(363,739,537)
(売買損益相当額)	(△ 3,956,664,635)	(△ 3,929,495,723)	(△ 3,909,113,037)	(△ 3,832,237,614)	(△ 3,783,290,421)	(△ 3,733,302,996)
分配準備積立金	2,492,611,100	2,235,817,940	2,112,380,313	2,026,283,576	1,908,644,910	1,827,519,771
繰越損益金	△ 25,646,969,331	△ 24,873,436,673	△ 24,821,727,472	△ 22,584,424,105	△ 22,886,537,926	△ 22,146,251,566

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	139,975,297円	153,907,910円	130,811,181円	183,705,680円	129,514,875円	161,373,035円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	385,900,075	383,341,838	381,228,323	373,572,469	368,753,333	363,739,537
(d) 分配準備積立金	2,731,325,308	2,455,345,609	2,202,595,138	2,058,106,167	1,991,054,850	1,874,411,787
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,257,200,680	2,992,595,357	2,714,634,642	2,615,384,316	2,489,323,058	2,399,524,359
(f) 分配金	378,689,505	373,435,579	221,026,006	215,528,271	211,924,815	208,265,051
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,878,511,175	2,619,159,778	2,493,608,636	2,399,856,045	2,277,398,243	2,191,259,308
(h) 受益権総口数	75,737,901,122口	74,687,115,947口	73,675,335,491口	71,842,757,047口	70,641,605,093口	69,421,683,735口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	50円	50円	30円	30円	30円	30円
(単 価)	(5, 471円)	(5, 494円)	(5, 439円)	(5, 657円)	(5, 547円)	(5, 588円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2017年2月10日)

(計算期間 2016年8月11日～2017年2月10日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第16期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

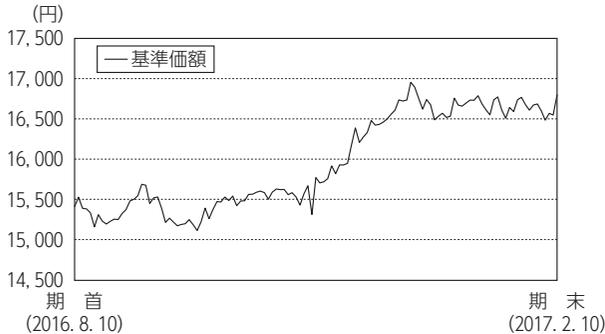
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	円	騰落率 %	騰落率 (参考指数)	騰落率 %	%	%
(期首) 2016年 8月10日	15,410	—	13,848	—	96.1	—
8月末	15,481	0.5	13,985	1.0	96.8	—
9月末	15,260	△ 1.0	13,851	0.0	97.3	—
10月末	15,558	1.0	13,836	△ 0.1	97.2	—
11月末	16,330	6.0	14,385	3.9	96.8	—
12月末	16,532	7.3	14,757	6.6	96.8	△ 12.9
2017年 1月末	16,676	8.2	14,438	4.3	97.4	△ 12.9
(期末) 2017年 2月10日	16,797	9.0	14,411	4.1	95.6	△ 13.0

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,410円 期末：16,797円 騰落率：9.0%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や投資している通貨が円に対して上昇したことから、基準価額は上昇しました。一方、投資している債券の価格の下落は、基準価額の上昇を抑える要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

投資対象国の債券金利は上昇 (債券価格は下落) しました。期首より、金利は横ばい傾向で推移しましたが、2016年10月以降は、ECB (欧州中央銀行) の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同氏の政策が米国景気の拡大やインフレの加速をもたらすとの観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。また、OPEC (石油輸出機構) が総会で減産に合意し原油価格が上昇する中でインフレ期待が高まったことも、金利上昇の材料となりました。

○為替相場

投資対象通貨の対円相場は上昇 (円安) しました。期首より、おおむね方向感のない推移となりましたが、2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進みました。また、内外金利差の拡大も円安の材料となりました。しかし12月半ば以降は、米国の保護主義的な政策への懸念や欧州の政治に対する不透明感などから、市場のリスク回避姿勢が強まり円高傾向となったことで、投資対象通貨の対円相場は上値の重い展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	0円 (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
合 計	3

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル 13,949	千アメリカ・ドル 20,606 (2,544)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル —
		地方債証券	2,802
国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 2,234 (—)
		特殊債券	4,315 (15,048 —)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 2,720	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	718,789	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	1,221,329
US Treasury Inflation Indexed Bonds (アメリカ) 0.25% 2025/1/15	444,533	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	869,462
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2046/2/15	352,418	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 6.25% 2018/2/23	619,940
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	334,474	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.25% 2025/6/1	609,373
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.5% 2024/6/2	218,883	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.25% 2021/6/1	453,445
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5.75% 2022/7/15	188,482	TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 6% 2020/6/15	359,677
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.75% 2022/6/1	273,583
		KOMMUNALBANKEN (ノルウェー) 3.5% 2018/5/30	257,650
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5.75% 2022/7/15	193,804
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2033/4/21	192,516

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 41,300	千アメリカ・ドル 41,808	千円 4,755,247	% 23.0	% —	% 13.0	% 9.7	% 0.3
カナダ	千カナダ・ドル 52,500	千カナダ・ドル 55,643	4,814,289	23.2	—	13.1	10.2	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 108,860	千オーストラリア・ドル 117,983	10,235,030	49.4	—	27.9	20.7	0.9
合計	—	—	19,804,567	95.6	—	54.0	40.5	1.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千カナダ・ドル	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	千アメリカ・ドル 5,000	千アメリカ・ドル 5,181	千円 589,315	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	9,000	9,051	1,029,494	2019/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	8,500	8,590	977,057	2021/02/28
	US Treasury Inflation Indexed Bonds	国債証券	0.2500	3,800	3,849	437,855	2025/01/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	3,500	3,143	357,500	2046/02/15
	BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	10,177	1,157,577	2024/09/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	500	517	58,895	2017/07/15
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,297	147,550	2023/01/19
	通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		41,300	41,808	4,755,247
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千カナダ・ドル 5,000	千カナダ・ドル 5,465	千円 472,849	2021/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	3,000	3,241	280,493	2022/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	6,000	6,313	546,275	2025/06/01
	Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	5,000	5,596	484,174	2021/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	7,500	8,165	706,509	2024/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	3,000	3,302	285,718	2021/06/02
	BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	3,000	3,143	271,946	2025/06/18
	CPPIB Capital Inc	特殊債券	1.4000	10,000	9,994	864,680	2020/06/04
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	10,000	10,421	901,642	2022/12/15
	通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		52,500	55,643	4,814,289

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千オーストラリア・ドル	千円	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	12,000	13,626	1,182,138	2026/04/21
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,700	928,303	2023/01/24
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	2.7000	3,000	2,973	257,941	2022/09/05
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.5000	5,000	5,639	489,200	2022/02/09
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	2.7500	10,000	10,103	876,495	2020/04/16
	KOMMUNALBANKEN	特殊債券	3.5000	2,000	2,035	176,567	2018/05/30
	Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,806	243,487	2023/05/15
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	5,000	5,951	516,283	2021/07/15
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	14,000	16,774	1,455,153	2024/07/22
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	14,000	14,205	1,232,353	2026/07/21
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.8000	6,000	6,061	525,876	2021/01/13
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,554	481,831	2020/07/28
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.5000	10,000	10,984	952,870	2019/08/07
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	2.8000	5,000	5,019	435,441	2021/01/15
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,545	481,085	2022/03/09
通貨小計	銘柄数	15銘柄					
	金 額			108,860	117,983	10,235,030	
合 計	銘柄数	32銘柄					
	金 額					19,804,567	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
T-NOTE (5YR) (アメリカ)	—	2,686

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 19,804,567	% 95.2
コール・ローン等、その他	994,422	4.8
投資信託財産総額	20,798,990	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.74円、1カナダ・ドル=86.52円、1オーストラリア・ドル=86.75円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(20,476,729千円)の投資信託財産総額(20,798,990千円)に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	20,841,572,078円
コール・ローン等	697,905,590
公社債（評価額）	19,804,567,601
未収入金	42,582,000
未取利息	110,474,950
前払費用	3,737,473
差入委託証拠金	182,304,464
(B) 負債	125,934,088
未払金	72,934,088
未払解約金	53,000,000
(C) 純資産総額（A－B）	20,715,637,990
元本	12,332,888,478
次期繰越損益金	8,382,749,512
(D) 受益権総口数	12,332,888,478口
1万口当り基準価額（C／D）	16,797円

*期首における元本額は14,668,963,049円、当期中における追加設定元本額は2,384,928円、同解約元本額は2,338,459,499円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－12,311,703,660円、ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－21,184,818円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は16,797円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月11日 至2017年2月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	361,452,328円
受取利息	361,399,113
その他収益金	75,694
支払利息	△ 22,479
(B) 有価証券売買損益	1,522,372,617
売買益	2,356,829,649
売買損	△ 834,457,032
(C) 先物取引等損益	△ 29,750,744
取引損	△ 29,750,744
(D) その他費用	△ 3,329,584
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	1,850,744,617
(F) 前期繰越損益金	7,935,330,324
(G) 解約差損益金	△ 1,404,940,501
(H) 追加信託差損益金	1,615,072
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	8,382,749,512
次期繰越損益金（I）	8,382,749,512

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2017年2月10日)

(計算期間 2016年8月11日～2017年2月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第16期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。</p> <p>※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。</p> <p>③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

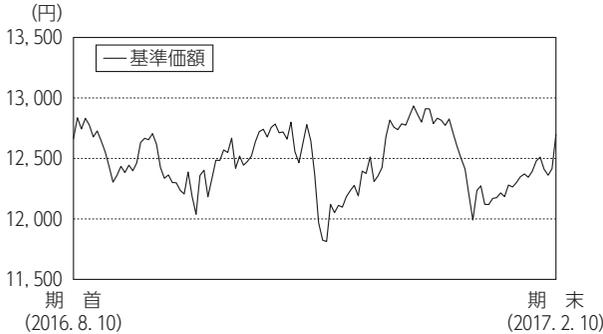
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,664円 期末：12,699円 騰落率：0.3%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や投資している通貨が対円で上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国の債券市況は、個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国の大統領選挙、欧米の金融政策などに振られる展開となりました。

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスク、また憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなどの政治的不透明感を背景に金利が上昇する局面がありました。2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小したものの、期を通してみると金利は上昇しました。メキシコでは、トランプ新米大統領がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて、金利は上昇しました。

○為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国の利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながりました。

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、対外ぜい弱性を背景に、対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、トランプ氏が大統領選挙で勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、期を通してみると小幅な上昇にとどまりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済ファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	%	(参考指数)	%	%	%
(期首)2016年8月10日	12,664	—	16,088	—	92.7	—
8月末	12,444	△ 1.7	16,067	△ 0.1	94.0	—
9月末	12,183	△ 3.8	16,048	△ 0.2	94.5	—
10月末	12,660	△ 0.0	16,426	2.1	96.5	—
11月末	12,376	△ 2.3	16,369	1.8	91.2	—
12月末	12,826	1.3	17,336	7.8	94.9	—
2017年1月末	12,372	△ 2.3	17,275	7.4	95.1	—
(期末)2017年2月10日	12,699	0.3	17,509	8.8	95.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(0)
合 計	5

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	千トルコ・リラ 28,316	千トルコ・リラ 4,975 (—)
		21,835	— (14,000)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 92,822	千メキシコ・ペソ 307,880 (—)
		千南アフリカ・ランド 214,336	千南アフリカ・ランド 316,569 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	1,419,466	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	1,018,097
Turkey Government Bond (トルコ) 10.6% 2026/2/11	780,710	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.25% 2020/1/15	794,721
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 5.75% 2018/4/3	621,176	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	766,345
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	512,380	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 6.75% 2021/3/31	677,802
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.5% 2037/1/31	300,421	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	342,232
Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2017/3/8	164,874	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	339,021
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 10.47% 2017/10/27	101,918	Turkey Government Bond (トルコ) 8.3% 2018/6/20	167,309
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2030/1/31	138,627
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	93,195
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 6.5% 2041/2/28	53,031

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
トルコ	千トルコ・リラ 181,490	千トルコ・リラ 171,201	千円 5,281,568	% 28.9	% —	% 18.0	% 0.3	% 10.6
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,170,000	千メキシコ・ペソ 1,146,470	千円 6,408,768	% 35.0	% —	% 14.1	% 8.7	% 12.2
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 738,965	千南アフリカ・ランド 677,514	千円 5,745,320	% 31.4	% —	% 26.9	% 0.7	% 3.8
合計	—	—	千円 17,435,657	% 95.3	% —	% 59.0	% 9.7	% 26.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	千トルコ・リラ 16,500	千トルコ・リラ 16,508	千円 509,279	2017/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	7.1000	10,000	8,430	260,065	2023/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	8.3000	25,000	24,181	745,991	2018/06/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	18,260	563,321	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	30,000	29,655	914,866	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	28,310	873,377	2025/03/12
	Turkey Government Bond	国債証券	9.4000	2,000	1,920	59,232	2020/07/08
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	22,000	22,011	679,039	2026/02/11
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.7500	20,000	18,857	581,744	2018/04/03
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	10.4700	3,090	3,068	94,651	2017/10/27
通貨小計	銘柄数 金 額	10銘柄		181,490	171,201	5,281,568	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 80,000	千メキシコ・ペソ 93,148	千円 520,697	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	100,000	101,147	565,411	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	100,000	103,286	577,368	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	100,000	98,474	550,469	2021/06/10
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	40,000	40,408	225,885	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	200,000	198,188	1,107,870	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	200,000	195,446	1,092,543	2018/06/14
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	200,000	187,044	1,045,575	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	150,000	129,328	722,946	2024/09/12
通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		1,170,000	1,146,470	6,408,768	

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド 千円	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	90,000	100,035	848,296	2026/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	50,000	36,068	305,856	2036/03/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.7500	15,000	14,318	121,417	2021/03/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	40,000	28,683	243,236	2041/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	41,459	351,576	2031/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	190,000	174,560	1,480,273	2048/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	160,000	145,510	1,233,928	2037/01/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	60,000	54,661	463,526	2030/01/31
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	16,965	16,773	142,240	2017/04/04
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	22,000	20,548	174,248	2017/12/29
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	15,000	15,181	128,741	2018/12/21
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	—	30,000	29,714	251,975	2017/04/07
通貨小計	銘柄数	12銘柄					
	金 額			738,965	677,514	5,745,320	
合 計	銘柄数	31銘柄					
	金 額					17,435,657	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	17,435,657	94.7
コール・ローン等、その他	969,602	5.3
投資信託財産総額	18,405,260	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.74円、1トルコ・リラ＝30.85円、1メキシコ・ペソ＝5.59円、1南アフリカ・ランド＝8.48円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(17,853,589千円)の投資信託財産総額(18,405,260千円)に対する比率は、97.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,756,091,300円
コール・ローン等	567,373,165
公社債(評価額)	17,435,657,531
未収入金	357,640,000
未取利息	321,980,018
前払費用	73,440,586
(B) 負債	459,080,490
未払金	412,080,490
未払解約金	47,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	18,297,010,810
元本	14,407,816,878
次期繰越損益金	3,889,193,932
(D) 受益権総口数	14,407,816,878口
1万口当り基準価額(C/D)	12,699円

* 期首における元本額は16,234,198,179円、当期中における追加設定元本額は5,286,587円、同解約元本額は1,831,667,888円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー14,382,060,797円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー25,756,081円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,699円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月11日 至2017年2月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	750,688,059円
受取利息	750,830,142
支払利息	△ 142,083
(B) 有価証券売買損益	△ 706,677,667
売買益	862,893,835
売買損	△ 1,569,571,502
(C) その他費用	△ 7,816,084
(D) 当期損益金 (A + B + C)	36,194,308
(E) 前期繰越損益金	4,325,118,323
(F) 解約差損益金	△ 473,332,112
(G) 追加信託差損益金	1,213,413
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,889,193,932
次期繰越損益金 (H)	3,889,193,932

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。